

マがたくさん飛んでいたね

「昔はここに大きな滑り台があっ

兀 い出 町の

自然を堪能していました。ま トンボを見て「昔はアオヤン

「この足跡はシカかな?」と広尾

生活支援体制整備事業

## ひろお通

「地域づくりから育つひ

います。

2019年

さが溢れている』ということ。歩いてみて一番に感じたのは一 こにあるのか考えていきたいと思 回私が『若い』と感じた要素はど 名前は歩っ歩の会。今回町を歩いている方々がい 水曜日の

月に活動を開始。以来10名の会員ルを引き継いだ形で平成18年4で行っていたウォーキングサーク が楽しく交流しながら歩いて 会の始まりは 健 康管理

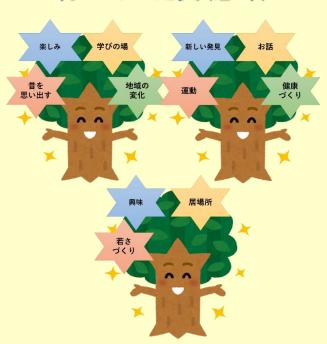
を組ん 発見したオタマジャクシを見に行 大丸山森林公園に行きました。 こう」ということで、 に合わせて臨機応変に対応 「この植物名前なんだっ 今回 でいますが の散歩コースは 年間 その日 スケジ 身障の森と け? してい この状況 先日

歩き続けて13年。 10時に集まり、 毎月第 は『若 . る。 1 緒に



味』です。 歩っ歩の会に してもらえればと思います。

## っていた実(意味)



加あ 者の方は 長年この町にに住んでいる什ど、 いことを感じごながら楽 ています。

若さの秘訣が見えてきた??

コーヒーをいただきながらのんびりくつろぎました。 って改めて気づくことがある 1 時間くらい歩いた後サンタの 家で休憩です。 していました。 みんなで

て感じたポイ 参加者間の会話を楽しみながら歩く」と話してくれました。 の加藤さんは その点も大事だとは思いますが、 ントは他にあると考えます。 「ただ歩くだけではなくて、 私が ワー 町の景色や 『若い』っ -ドは『

に戻ったかのような行動がとても印象的でした。これまでの .何かいないかと夢中で突っついてみたり」まるで子供「道なき道を歩いてみたり」「池のような場所や植物 いろんな事に興味を持ってい のの時中

とだと思いました。 のが分かるかと思います。エピソードを振り返っても、 今回ほんの一部とはいえ、 興味を持つ」ということは、 今後も安全に気を付けながら、 歩 0 歩 何歳になっても大事なこの会の軌跡を辿りました 楽しく活

発行: 広尾町社会福祉協議会(川原) 2 - 4 1 1 0